

令和 3 年度

前期日程

地理歴史問題

〔注 意〕

1. 日本史問題, 世界史問題, 地理問題の三つの中から一つを選んで解答すること。
2. 問題冊子及び解答用冊子は, 試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
3. 問題冊子は, 表紙を除き 1 ページから 12 ページまでである。9 ページ以下は, 下書き用紙である。脱落している場合は直ちに申し出ること。
4. 解答用冊子には, 解答用紙 7 枚が折り込まれている。解答用紙をミシン目に従って切り離し, 受験番号を, 選んだ問題に対応する解答用紙の受験番号欄(1 枚につき 2 か所)に, 正確に記入すること。
5. 解答は, 解答用紙の指定されたところに記入すること。枠からはみ出してはいけない。
6. 問題冊子の下書き用紙のほか, 問題冊子の余白も下書きに使用してよい。
7. 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
8. 問題冊子は持ち帰ること。

I 日本史問題

- (I) 仏教が日本列島に伝来すると、日本の神祇信仰はさまざまな影響を受け、やがて神仏習合と呼ばれる現象があらわれるようになる。奈良・平安時代における神仏習合の展開過程について具体的に述べなさい(200字程度)。
- (II) 承久の乱は、朝廷と鎌倉幕府の関係を大きく変化させる契機となった。乱後、両者の関係はどのように変化したのかについて、具体的に述べなさい(200字程度)。
- (III) 天明の飢饉をうけ、都市と農村は危機に陥った。寛政の改革において幕府がとった農村復興政策について、寛政の改革における都市政策にも留意しながら具体的に述べなさい(200字程度)。
- (IV) 1890年に帝国議会が開設されて以後長い間、地租問題は政界の争点であり続けた。初期議会から第2次山県有朋内閣までの地租問題の展開について、藩閥政府と政党との関係に留意しつつ具体的に述べなさい(200字程度)。

II 世界史問題

(I) 以下の文章を読み、下の問い(問1～問3)に答えなさい。

著作権処理中のため、公開できません

問1 以上は14世紀後半のイングランドの神学者による文章である。著者(A)と、その影響を受けたボヘミアの宗教者(B)およびザクセン選帝侯の庇護を受けた宗教者(C)の名前として適当なものを、それぞれ下の選択肢から選び、数字で答えなさい。

- | | |
|--------------|-------------------|
| (1) ウィクリフ | (2) フス |
| (3) ルター | (4) ツヴィングリ |
| (5) ワット=タイラー | (6) ウィリアム=オブ=オッカム |
| (7) カルヴァン | |

問2 上記の宗教者A・B・Cはともに、下線部の「異端者」のどのような信仰のあり方を批判し、それをどのような方法で変革しようと試みたのか、論述しなさい。ただし、「異端者」とは何を指すかを明示すること(120字程度)。

問3 問2で答えた「異端者」に対しては、14世紀以前にも、様々な批判が示され、その「異端者」自身も、組織の腐敗や対抗勢力の出現に対峙するなかで、様々な刷新を試みてきた。11世紀のそれは修道院出身者が主導したものであり、13世紀のそれは民衆主体の運動を一部は排除し、一部は内部に取り込むことで進められた。「異端者」は、当時のどのような状況を、どのように変革しようとしたのか、11世紀・13世紀のそれぞれについて論述しなさい。ただし、下記の語句をすべて使用すること(200字程度)。

聖職売買 清貧 カタリ派 托鉢修道会

(Ⅱ) 以下の文章を読み、下の問い(問1・問2)に答えなさい。

下に掲げる図Ⅰ・図Ⅱは、いずれも、アフリカ大陸原産の大型草食獣・キリンが、15世紀当時における東西の権力者に献上された様子を描いたものである。左は、明王朝の皇帝、朱棣^①(永楽帝、在位1402-24年)への、右はフィレンツェのロレンツォ・デ・メディチ^②(1449-92年)に対する献納品として、キリンが描きこまれている。異域に生息する巨大な珍獣というプレゼントは、権力者の威光を演出し広く宣示するために、あるいは古典期の博物学的な知識とのつながりを示すうえで、絶好の題材だったであろう。

グローバル規模での人と人の交流に翻弄される動物をめぐる問題は、現在も形をかえて多くの論議を巻き起こしつつある。

著作権処理中のため、公開できません

図Ⅰ 瑞応麒麟図(沈度題)

図Ⅱ 各国大使から贈り物を受け取るロレンツォ(G. ヴァザーリ)

問1 図Ⅰは、下線部①の人物に対してベンガルから贈られたキリンを描いたものとされる。キリンが下線部①の人物に献上された背景について、明王朝内外の政治・軍事的状況を踏まえて論述しなさい。なお、絵のタイトルも参考にしつつ、使節の服装やキリンが示す象徴的意味についても、論及すること(200字程度)。

問 2 図Ⅱの右上部分には、下線部②の人物に対してマムルーク朝のスルタンより贈呈されたキリンが見える。下線部②の人物が保護したとされる文化活動およびその背景について、イタリア半島外部の要素にも重点を置きつつ、論述しなさい(200字程度)。

(Ⅲ) 以下の文章を読み、下の問いに答えなさい。

2020年6月、サウジアラビアは新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する目的で、巡礼月におけるメッカへの巡礼者の受け入れを休止する旨を発表した。これにより、サウジアラビア国内の少数の巡礼者以外は巡礼を行えないこととなった。巡礼月に行われるメッカ巡礼は「大巡礼」と呼ばれ、イスラム教徒の重要な宗教行為である。たとえ貧しくとも生涯をかけて巡礼資金を貯め、命がけで大巡礼に出る者も少なくない。そのため、サウジアラビアの決定は異例のことであった。

もともと、過去には疫禍や反乱、戦争、そのほか宗教的、政治的な対立などの理由によって大巡礼が一時中断したり、低迷することはあった。たとえば2016年にはイランからの巡礼が一時、停止した。前年の大巡礼において発生した将棋倒し事故に端を発する両国の政治的対立が原因であったが、その背景には両国の宗教事情も深く関係していた。両国で大勢を占める宗派のあり方について、論述しなさい。ただし、以下の語句をすべて用いること(150字程度)。

アッバース朝 アリー ウマイヤ朝
カリフ 預言者 四人

Ⅲ 地理問題

(I) 世界の難民や紛争をめぐる問題に関する次の文章を読み、下の問い(問1～問3)に答えなさい。

2015年、大量の移民・難民が地中海やバルカン半島などを經由してヨーロッパに流入し、移民・難民問題が世界的な注目を浴びた。しかし、難民はそれ以前から世界の様々な地域で発生しており、^①深刻な問題であり続けている。

難民発生のも最も主要な原因は紛争である。紛争の背景や形態は時代ごとの特徴を持っている。1980年代末期から1990年代にかけては、それより前の時期^②とは異なる背景による紛争が多発するようになり、また2000年代以降になると、テロリズムなどを手段とする組織の活動が活発化した。

現代の紛争は、民族をめぐる問題や、国民国家の概念・あり方^③にも深刻な問題を投げかけているものと言え、平和構築に向けた新たな枠組みが問われている。

問1 下線部①に関して、世界の国・地域の難民受入数の分布を示した図1を参考に、難民発生国と難民受入国との関係について説明しなさい(150字程度)。

問2 下線部②に関して、旧ユーゴスラビアの解体以降にバルカン半島やその周辺地域で起こった紛争の背景について説明しなさい(150字程度)。

問3 下線部③に関して、民族と言語との関係、民族と国家との関係、および国家と言語との関係について、世界の事例や現状を踏まえて説明しなさい。なお、具体的な国・地域名や民族・言語名などの語句は用いないこと(200字程度)。

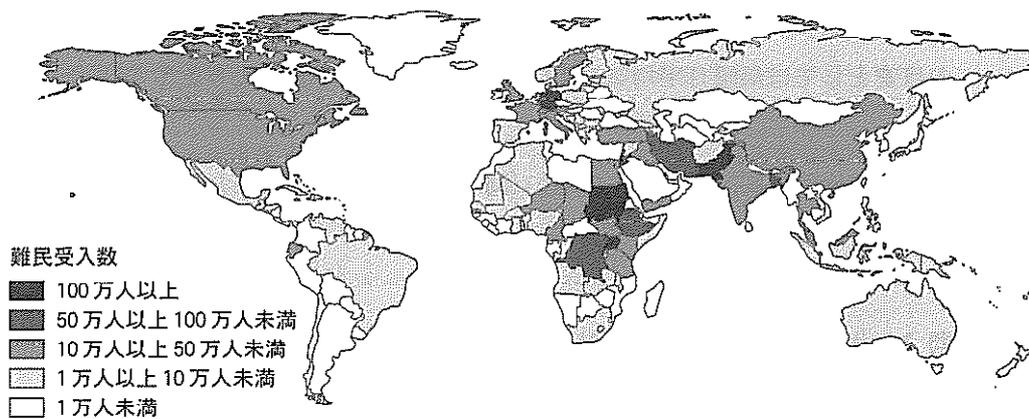


図 1

(注) UNHCR のデータ(年次は2018年)に基づいて作成。

(Ⅱ) 北極圏とは、通常は北緯およそ $66^{\circ}33'$ より高緯度地域のことをいう。気候の目安としては最暖月平均気温 10°C の等温線を北極圏の限界とする場合がある。

この北極圏に関する、以下の問い(問1～問3)に答えなさい。なお、後掲の図2を参照すること。

問1 北極圏における気候の特色と20世紀後半以降の環境変化について述べなさい(200字程度)。

問2 北極圏における交通の概要について述べなさい(150字程度)。

問3 北極圏の資源の利用と開発について述べなさい(150字程度)。

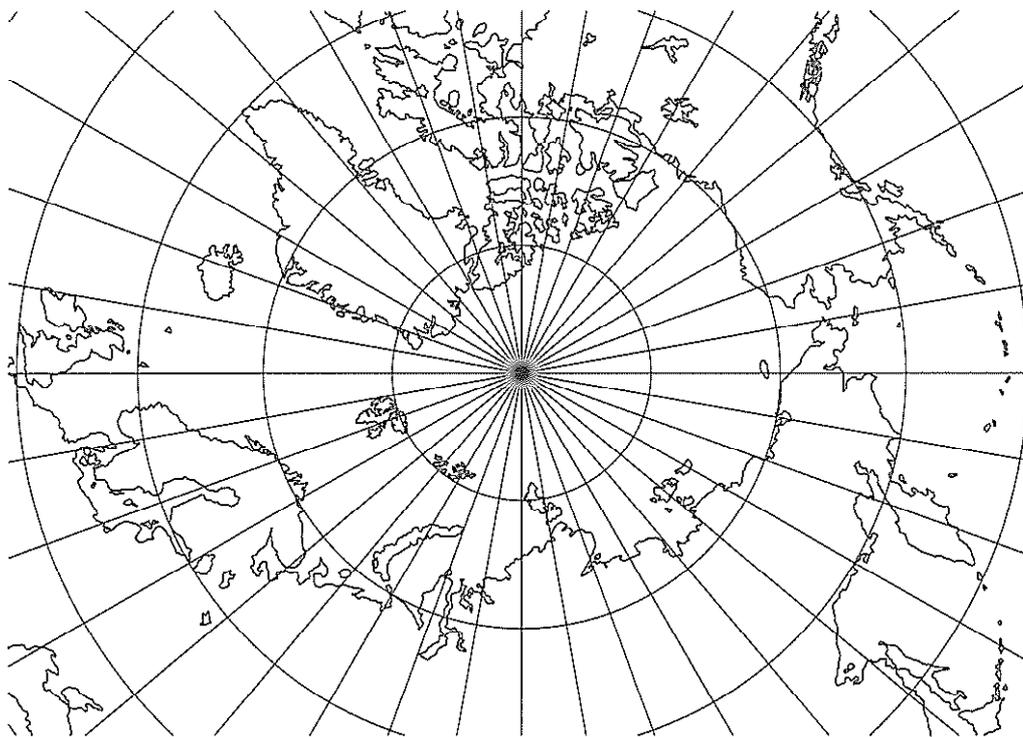


図2 北極圏および周辺地域